

PET（ポジトロン放射断層撮影）検査に関する説明と同意確認書

公立松任石川中央病院 PET センター

医師 横山 邦彦

以下を一度お読みになりご持参ください。検査当日にご説明いたします。

1. PET（ポジトロン放射断層撮影）検査について（目的と副作用）

がん細胞は、正常細胞よりも多くのブドウ糖を集めて使います。PET 検査は、その性質を利用してがんの診断を行ないます。検査薬として $[^{18}\text{F}]$ -フルオロデオキシグルコース（以下、FDG）という放射性ブドウ糖薬剤を使用します。静脈注射し、全身の臓器への集まり具合を撮影します。がん（悪性病変）の精密かつ効率の良い検査です。

FDG は CT 等で使用する造影剤と異なり安全です。当院では管轄する学会のガイドライン等に準拠して FDG を院内で当日製造し、品質試験に合格したものを使用しています。検査に使用する薬剤は微量で、放射線による人体への被ばく影響は無視して良いレベルです。また個々人の体重に合わせて投与することで被ばくの低減に努めています。ただし、妊娠しているか、その可能性のある方は、お申し出下さい。

2. PET 検査を受けるにあたり次の点をご理解ください（診断の限界について）

- ◆ 顕微鏡レベルの異常や 5 mm 以下の小さな病変は診断できません。
- ◆ 早期胃癌の診断には適しません。
- ◆ 早期の前立腺癌、腎細胞癌や肝細胞癌などのがんは、FDG が集まりにくいために PET 単独では診断が困難です。
- ◆ FDG は尿から排泄されるため、腎臓や尿路、膀胱には必ず強く集まります。また、炎症などの良性疾患にも集まります。
- ◆ PET 検査だけで診断が確定するものではありません。このため今回の検査で異常所見がみられた場合、さらに他の追加検査が診断に必要となることがあります。
- ◆ PET/CT 検査でおこなわれる CT は FDG-PET 検査を補う目的で撮像するため、一般的におこなわれる CT 検査とは異なり単独で診断するものではありません。
- ◆ 血糖が高くなると PET の画質が悪くなるため、検査直前の測定で血糖値が 200 mg/dL を超えると検査ができない場合があります。

*裏面もお読みください

3. その他

当センターでは、皆様方の様子と検査の進行状況についてモニターカメラを通して把握しております。モニター画像を録画したり、プライバシーを侵害することは一切ございません。

4. 個人情報の取り扱いについて

今回のPET 検査受診にあたり、下記の目的で個人情報（診療上の記録も含め）の利用および提供をすることがあります。状況に応じて、画像や検査結果については個人が特定されないように配慮いたします。

- ・ 他の医療機関、施設などと診療情報を連携する
- ・ 法令などで届出義務があるもの
- ・ 国、地方公共団体などが行う各種統計報告や調査
- ・ 学術研究発表

なお、当院の個人情報保護の方針についてのご質問やお問い合わせは、中央受付 医療相談窓口でお受けいたします。

年 月 日

説明担当者
